

医療薬学研究室

Medical Pharmaceutics

教授	藤 秀人	Hideto To
准教授	辻 泰弘	Yasuhiro Tsuji
助教	岡崎 史泰	Fumiyasu Okazaki

◆ 著 書

- 1) 藤 秀人. 時間薬理学による最新の治療戦略. 大戸茂弘編. 東京: 医薬ジャーナル社; 2013. 6 リウマチ; p. 276-91.

◆ 原 著

- 1) Hiraki Y, Yoshida M, Masuda Y, Inoue D, Tsuji Y, Kamimura H, Karube Y, Takaki K, Kawano F. Successful treatment of skin and soft tissue infection due to carbapenem-resistant *Acinetobacter baumannii* by ampicillin-sulbactam and meropenem combination therapy. *Int J Infect Dis.* 2013 Dec;17(12):e1234-6.
- 2) Matsui M, Shibayama K, Tsuji Y, Kamimura H, Karube Y, Yoshida M, Masuda Y, Hiraki Y, Takaki K, Kawano F. Isolation of genetically indistinguishable carbapenem-resistant and -susceptible *Acinetobacter baumannii* Isolates from a single patient. *Antimicrob Agents Chemother.* 2013 Nov;57(11):5781-2.
- 3) Tsuji Y, Hashimoto W, Taniguchi S, Hiraki Y, Mizoguchi A, Yukawa E, To H. Pharmacokinetics of linezolid in the mediastinum and pleural space. *Int J Infect Dis.* 2013 Nov;17(11):e1060-1.
- 4) Tsuji Y, Yukawa E, Hiraki Y, Matsumoto K, Mizoguchi A, Morita K, Kamimura H, Karube Y, To H. Population pharmacokinetic analysis of linezolid in low body weight patients with renal dysfunction. *J Clin Pharmacol.* 2013 Sep;53(9):967-73.
- 5) Hiraki Y, Tsuji Y, Misumi N, Hiraike M, Matsumoto K, Morita K, Kamimura H, Karube Y. Pharmacokinetics and elimination efficiency of linezolid during dialysis. *Ren Fail.* 2013;35(3):418-20.
- 6) Tanabe K, Ohkubo J, Ikezaki T, Kitayama S, Tsuneda Y, Nitta A, Imamura L, To H, Shimada M, Murakami N, Kitazwa H. Effect of sodium bisulphate on the stability of octreotide acetate: Compatibility study with dexamethasone injection. *Palliat Care Res.* 2013; 8(2): 177-83.
- 7) 村上優美, 辻 泰弘, 溝口晶子, 高原規子, 小林恵子, 曾根本恵美, 藤 秀人, 神村英利. 薬剤師の病棟薬剤業務に対する医師・看護師の評価. *日本病院薬剤師会雑誌.* 2013 ; 49(7) : 747-51.

◆ 学会報告

- 1) 小山 葵, 田中安紀, 河村銀河, 五十嵐信生, 藤 秀人. メトトレキサートの少量頻回投薬による関節炎増悪抑制効果への影響. 第 34 回日本臨床薬理学会 ; 2013 Dec 4-6 ; 東京.
- 2) 辻 泰弘. 中小病院でも“できる”薬剤師の臨床研究. 第 399 回富山県病院薬剤師会学術講演会 ; 2013 Nov 30 ; 富山.
- 3) Okazaki F, Matsunaga F, Higashi H, To H, Koyanagi S, Ohdo S. The influence the dosing time dependent change in the antitumor effect of Transferrin liposome Oxaliplatin. 第 7 回次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム ; 2013 Nov 23-24 ; 仙台.
- 4) 藤 秀人. 生物時計とリウマチ. 第 20 回日本時間生物学会学術大会 ; 2013 Nov 9-10 ; 大阪.
- 5) 辻 泰弘. 抗菌化学療法認定薬剤師の活動と将来像. 第 61 回日本化学療法学会西日本支部総会 ; 2013 Nov 6-8 ; 大阪.
- 6) 鳴河宗聡, 田代将人, 辻 泰弘, 山本善裕. 腎不全患者に対してリネゾリドの TDM が有用であった MRSA 縦隔炎の 1 例. 第 61 回日本化学療法学会西日本支部総会 ; 2013 Nov 6-8 ; 大阪.
- 7) 大浦麻由, 永原眞子, 永野康己, 西野優子, 藤 秀人. 薬局実務実習の卸見学における卸勤務薬剤師の取り組み. 第 46 回北信越薬剤師学術大会 ; 2013 Nov 3-4 ; 金沢.
- 8) 大浦麻由, 永原眞子, 永野康己, 西野優子, 藤 秀人. 薬局実務実習の卸見学における卸勤務薬剤師の取り組み. 第 15 回富山県薬学会 ; 2013 Oct 19 ; 富山.
- 9) 辻 泰弘, 橋本 亘, 谷口真一郎, 溝口晶子, 平木洋一, 松元加奈, 森田邦彦, 神村英利, 加留部善晴, 藤 秀人.

- 胸腔および縦隔腔におけるリネゾリドの組織移行性は高い. 第 23 回日本医療薬学会年会 ; 2013 Sep 21-22 ; 仙台.
- 10) 井上大奨, 吉田真由美, 益田洋子, 平木洋一, 真鍋健一, 河野文夫, 辻 泰弘, 神村英利, 加留部善晴. ABPC/SBT-MEPM 併用療法が有効であった多剤耐性 *Acinetobacter baumannii* による皮膚・軟部組織感染症. 第 23 回日本医療薬学会年会 ; 2013 Sep 21-22 ; 仙台.
 - 11) 平木洋一, 松井真理, 吉田真由美, 益田洋子, 井上大奨, 真鍋健一, 辻 泰弘, 神村英利, 加留部善晴, 河野文夫. 興味ある感受性を示した多剤耐性 *Acinetobacter baumannii*. 第 23 回日本医療薬学会年会 ; 2013 Sep 21-22 ; 仙台.
 - 12) 村上優美, 井上慶子, 田中香織, 岩村直矢, 池田祐輔, 溝口晶子, 平木洋一, 辻 泰弘, 藤 秀人. 腎機能を指標としたダビガトラン切替後の aPTT モニタリングの有用性. 第 23 回日本医療薬学会年会 ; 2013 Sep 21-22 ; 仙台.
 - 13) 曾根本恵美, 紙谷友里子, 溝口晶子, 辻 泰弘, 藤 秀人. 関節リウマチに対するアバタセプトの臨床効果. 第 23 回日本医療薬学会年会 ; 2013 Sep 21-22 ; 仙台.
 - 14) 福森史郎, 村木優一, 岩本卓也, 藤井英太郎, 伊藤正明, 奥田真弘, 辻 泰弘, 藤 秀人. 持続性心房細動に対するカテーテルアブレーション後の血中ペプリジル濃度と心房細動再発予防との関連性. 第 23 回日本医療薬学会年会 ; 2013 Sep 21-22 ; 仙台.
 - 15) 北山祥平, 松尾真仁, 藤 秀人. 麻杏甘石湯の構成方剤である石膏の甘草含有成分 Glycyrrhizin に及ぼす製剤内相互作用への影響. 第 30 回和漢医薬学会学術大会 ; 2013 Aug 31 ; 金沢.
 - 16) 辻 泰弘, 橋本 亘, 谷口真一郎, 平木洋一, 溝口晶子, 松元加奈, 森田邦彦, 仲山隆太, 藤 秀人. 難治性縦隔炎患者を対象としたリネゾリドの胸部領域移行性の検討. 医療薬学フォーラム 2013 ; 2013 Jul 20-21 ; 金沢.
 - 17) 平木洋一, 松井真理, 吉田真由美, 益田洋子, 井上大奨, 真鍋健一, 辻 泰弘, 神村英利, 加留部善晴, 河野文夫. 抗菌圧により感受性の変化を示した多剤耐性アシネトバクター. 医療薬学フォーラム 2013 ; 2013 Jul 20-21 ; 金沢.
 - 18) 辻 泰弘, 橋本 亘, 谷口真一郎, 山本善裕, 藤 秀人. リネゾリドの胸部組織移行性に関する薬物動態学的検討. 第 4 回 MRSA フェーラム ; 2013 Jul 13 ; 東京.
 - 19) 辻 泰弘. 基礎用語から学ぶ抗菌薬の薬物動態. 日本臨床微生物学会第 10 回感染症学セミナー ; 2013 Jun 29 ; 東京.
 - 20) 辻 泰弘. 膠原病および関節リウマチの薬物療法とアドヒアランス向上のポイント. 京都府薬剤師会舞鶴地区第一回学術講演会 ; 2013 Jun 26 ; 舞鶴.
 - 21) 藤 秀人. 関節リウマチの時間薬物療法. 日本薬学会第 133 年会 ; 2013 Mar 27-30 ; 横浜.
 - 22) 辻 泰弘. バンコマイシンにおける TDM ガイドラインに基づいた標準治療と臨床応用. 第 30 回日本 TDM 学会・学術大会 ; 2013 May 25-26 ; 熊本.
 - 23) 平池美香子, 井上大奨, 平木洋一, 真鍋健一, 辻 泰弘, 神村英利, 加留部善晴, 平田純生. 透析患者におけるバンコマイシンの初回投与量の検討. 第 30 回日本 TDM 学会・学術大会 ; 2013 May 25-26 ; 熊本.
 - 24) 井上大奨, 平池美香子, 平木洋一, 真鍋健一, 辻 泰弘, 神村英利, 加留部善晴, 平田純生. アミノグリコシド系抗生物質 (AMK, GM) のダイアライザーによる除去率. 第 30 回日本 TDM 学会・学術大会 ; 2013 May 25-26 ; 熊本.
 - 25) 辻 泰弘. 育薬研究のススメー臨床で研究の種を大切にす薬剤師一. 第 9 回 Pharm. Café ; 2013 Feb 9 ; 大阪.

◆ その他

- 1) 薬剤師体験型学習「未来の薬剤師大集合!!!」. 北陸中日新聞 (朝刊). 2013 Oct 27.
- 2) 薬剤師体験型学習「未来の薬剤師大集合!!!」. 富山新聞 (朝刊). 2013 Oct 27.
- 3) 藤 秀人. 時間薬物療法の臨床応用を目指したトランスレーショナルリサーチ. 日本時間生物学会 奨励賞 ; 2013 Nov 9-10 ; 大阪.
- 4) 小山 葵. メトトレキサートの少量頻回投薬による関節炎増悪抑制効果への影響. 第 34 回日本臨床薬理学会学術総会 優秀演題賞 ; 2013 Dec 4-6 ; 東京.
- 5) 岡崎史泰. The influence the dosing time dependent change in the antitumor effect of Transferrin liposome Oxaliplatin. 第 7 回次世代を担う若手医療薬科学シンポジウム 優秀発表賞 ; 2013 Nov 23-24 ; 仙台.
- 6) 藤 秀人. 日本医療薬学会第 50 回医療薬学公開シンポジウム実行委員長 ; 2013 Nov 17 ; 富山.
- 7) 辻 泰弘. リネゾリドの胸部組織移行性に関する薬物動態学的検討. 第 4 回 MRSA フェーラム 優秀演題賞 ; 2013 Jul 13 ; 東京.
- 8) 藤 秀人, 辻 泰弘, 岡崎史泰. 平成 24 年度富山大学薬学部薬局実務実習発表会. 富山市薬剤師会広報誌. 2013 ; 35(5) : 18.
- 9) 辻 泰弘. 細菌性髄膜炎患者におけるリネゾリドの髄液移行性の検討, 政策医療振興財団研究助成報告書 (平成 23 年度). 2013 ; 145-56.

- 10) 辻 泰弘, 藤 秀人. ここが知りたい!リウマチケアの Q&A 「アドヒアランスの向上」. RA ナーシング. 2013 ; 16 : 8-13.
- 11) 溝口晶子, 辻 泰弘. 持参薬情報の医療スタッフ間の共有システムとその評価. 薬事新報. 2013 ; 782-787.